

令和7年度 保育協議会だより

No. 1



秋田市保育協議会

新施設長紹介



日新保育園

園長 和泉 牧子

今年度4月より園長を務めさせて頂いております。

私が勤める日新保育園は平成10年に今の場所に移転し、早いもので27年になります。移転当初は周辺に松林や近隣の方の畑などがあり自然豊かな場所でしたが、今では新しい住宅も増え、周りの様子も変化しました。しかしその中でも以前と変わらず、『自然と関わりながらのびのびと遊ぶ』事を大切にしています。自慢のひとつである広い園庭では、子どもたちは毎日鬼ごっこやサッカー、虫探し、砂遊びを楽しんでいます。特に今は、ままごとの容器を片手にダンゴムシ集めが大人気です。大きいクラスの子どもたちの真似をして、未満児クラスの子どもたちも集めています。たくさん集めてキラキラした目で自慢気に『先生見て！』と差し出す姿は本当にかわいらしく、保育士をしていてよかったと思える瞬間でもあります。

前任の森川園長のもとで主任保育士をやってきましたが、今までとは全く違うその重責を痛感しています。『私に務まるのだろうか』といまだに不安に思いながらも、『私が不安になっていたらいけない。ひとつひとつやっていくしかない』と気を引き締めて仕事に向かう毎日です。

保育は大変な面もありますが、子どもたちとの関わりの中で喜びを感じる事も多く、楽しい仕事だと思い勤めてきました。保育士が保育を楽しめると子どもたちも毎日が楽しい、それが保護者の方の安心にもつながっていくと思っています。その為にも職員同士が相談し合える、また自分の意見を発しやすい職場環境を作っていきたいと思っています。幅広い年齢の職員、職種の違いなどがありますが、お互いの良い所を認め合い、園全体のチームワーク力が高められるよう精一杯努力していきたいと思っています。

至らない点も多いと思いますが、皆様に支えて頂きながら頑張っていきたいと思いますので、今後ともご指導くださいますようお願いいたします。

新施設長紹介



こぐま保育園

園長 小林 ひろみ

4月から前園長の後を引き継いで・・・あっという間に3か月が過ぎました。

日々の業務をこなすだけで精いっぱい、1日があっという間でしたが、子どもたちの笑顔、おうちの方々との何気ない会話、頼りになる職員のみなさんの助けで何とか毎日を過ごしております。

私たち、『社会法人すこやか こぐま保育園』は、秋田市中心部泉地区の住宅地の中にあり近隣には商業施設・歩いて行ける公園もいくつもあり、泉外旭川駅もすぐ近くにあります。晴れた日は「どこの公園に行こうか?」「電車見に行く!」、雨の日はレインコートを着て傘をさしてお散歩を楽しんでいます。春は電車に乗ってお花見にも出かけました。また、同じ法人の南通りすこやか保育園の園庭にも時々お出かけして全身でお砂遊びやアスレチックを楽しんでいます。30人定員と少ない人数ですが個性豊かな大切子どもたちです。一人一人とじっくりかかわって、自分で考えて行動できるよう主体性を大切に過ごしています。全職員が帰りにお迎えに来たおうちの方々に1日の様子を伝えられる!それが自慢です。

そして、あたたかいおいしい給食・手作りおやつも自慢です。「今日の給食は・・・?」と楽しみに登園して、毎日モリモリ食べています。時にはレシピを聞かれることもあります。私のいち押しは“おふラスク”と“人参ポッキー”です。父兄の方々には安心して預けられる保育園、子どもたちにとっては安心できる場所としてたくさん遊んでたくさん食べて生きる力を蓄えて元気にすくすく育てほしいと毎日願っています。

私は、小さなエネルギーをたくさんもらって今日もまた頑張ります!

子育て支援企画委員会 活動報告書

7月26日(土)27日(日)の2日間、秋田県立武道館にて『子育て応援団すこやか秋田2025』が開催されました。猛暑の中、両日合わせて22、292名という大勢の来場者で賑わいました。遊びサポートゾーンを担当した子育て支援企画委員会では、親子と一緒に遊び、子育て支援にもつながるような大変楽しい時間を過ごすことができた2日間でした。



各園で持ち寄った様々な遊具の中で、興味のあるもの、好きなもので自由に楽しんでもらいました。靴を脱いで、広い空間の中、小さなお子さんも安心して遊べたようです。

テーブルでは、パズル、折り紙での製作を、親子と一緒にいろいろ考えながら、会話も弾み楽しんでいる様子が見られました。



ステージでは、14名の野菜レンジャーの皆さんが大活躍！会場の子どもたちを盛りあげ、たくさんの声援、拍手をもらいました。

プレゼントのペープサートは、毎年大人気で、約400本全てがなくなりました。No1は、やはりアンパンマンでした！





令和 7 年7月 発行